

2018年12月期 第3四半期累計 決算説明資料

2018年11月5日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2018年12月期 第3四半期累計 決算概要

◆資料内の表記

BC: ベビーケア事業

FC: フェミニンケア事業

HC: ヘルスケア事業

C&F: クリーン&フレッシュ事業

PC: ペットケア事業

● 連結業績(過去最高を更新)

- ✓ 売上高4,981億円(325億円増収 +7.0%)、コア営業利益758億円(92億円増益 +13.8%)。
- ✓ コア営業利益率 14.3%⇒15.2%、アジアを中心に大幅に改善。

● 日本業績 106億円増収(+5.6%)、1億円減益(-0.3%)

- ✓ HC…市場シェアを継続拡大。圧倒的No.1を維持。中度、軽度の新商品が好調を継続。
- ✓ BC…中国への越境ECが約1.6倍成長。ハイプレミアム商品の構成が高まる。

● 海外業績 219億円増収(+7.9%)、93億円増益(+38.4%)

- ✓ アジア…185億円増収(+9.2%)、91億円増益(+44.3%)。
コア営業利益率10.2%⇒13.4%へ改善。
- ✓ 中国…FCは主要都市を中心にエリアを拡大。効率的なマーケティングが功を奏し、高成長を牽引。BCは継続したムーニー(輸入品紙おむつ)へのマーケティング投資の効果もあり、越境ECを含めたムーニーの販売は好調に推移(正規輸入品+越境EC 約1.3倍成長)。パンツ型紙おむつへのシフトを促進、パンツ型の供給量を高め、構成比は更に上昇。
- ✓ インドネシア…継続したブランド強化の効果やトラディショナル市場への販路拡大等で引き続き安定的な成長を実現、収益性改善。
- ✓ インド…4月に第3工場が竣工。更なる成長基盤を強化し、持続的な高成長。

● 株主還元

- ✓ 配当金…年間配当金は4円増配の24円を予定。17期連続増配を計画。配当性向を段階的に上昇。
- ✓ 自社株式の取得を決議 (155億円上限 5,500千株上限)

325億円増収(+7.0%)、92億円営業増益(+13.8%)

いずれも過去最高を更新

年間業績予想に対し、売上高、利益ともに順調に推移



■ 連結決算ハイライト

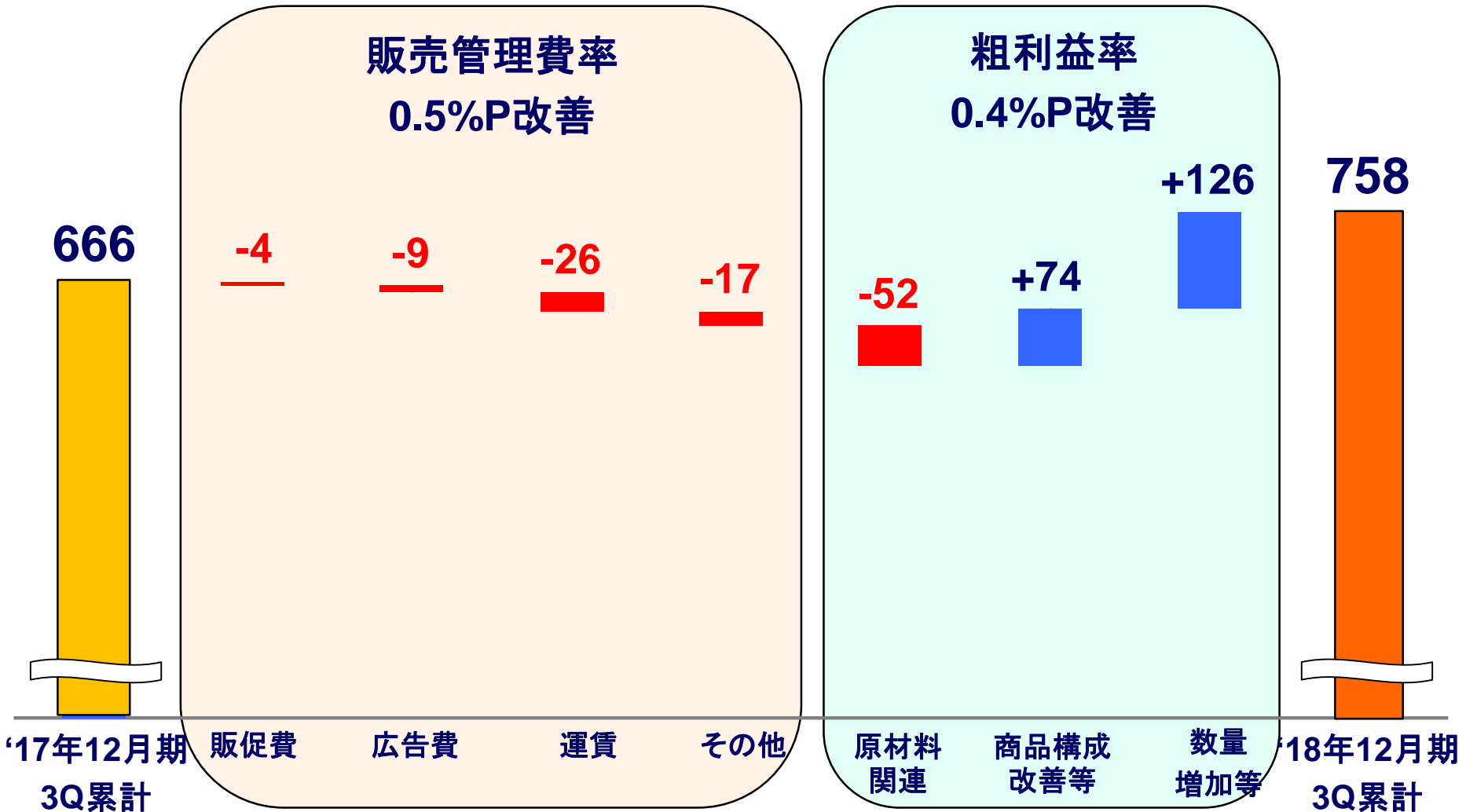
(百万円)

	'17/12月期 3Q累計	'18/12月期 3Q累計	増減額	増減率	(業績予想) '18/12月期	進捗率
売上高	465,592	498,115	+32,523	+7.0%	687,000	72.5%
コア営業利益 (利益率)	66,632 (14.3%)	75,808 (15.2%)	+9,176	+13.8% (+0.9%P)	94,000 (13.7%)	80.6%
税引前四半期利益 (利益率)	66,966 (14.4%)	73,905 (14.8%)	+6,939	+10.4% (+0.4%P)	93,000 (13.5%)	79.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	43,622 (9.4%)	47,086 (9.5%)	+3,464	+7.9% (+0.1%P)	59,000 (8.6%)	79.8%
基本的1株当たり四半期利益(円)	74.21	79.85	+ 5.64	+ 7.6%	98.91	—
USDレート(円)	111.92	109.61	-2.31	-2.1%	110.00	—
中国元レート(円)	16.47	16.85	+0.38	+2.3%	16.80	—

効率的なマーケティング投資の効果により、販売数量の増加や商品ミックスの改善を実現、売上とのネット販促費を削減したことにより、原材料価格の上昇等を吸収し92億円増益

■ コア営業利益増減

(億円)



日本では、BCの越境ECが高成長を継続、他事業も好調を持続
アジアでは、主要国の中国、タイ、インドネシア等が収益性改善



■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

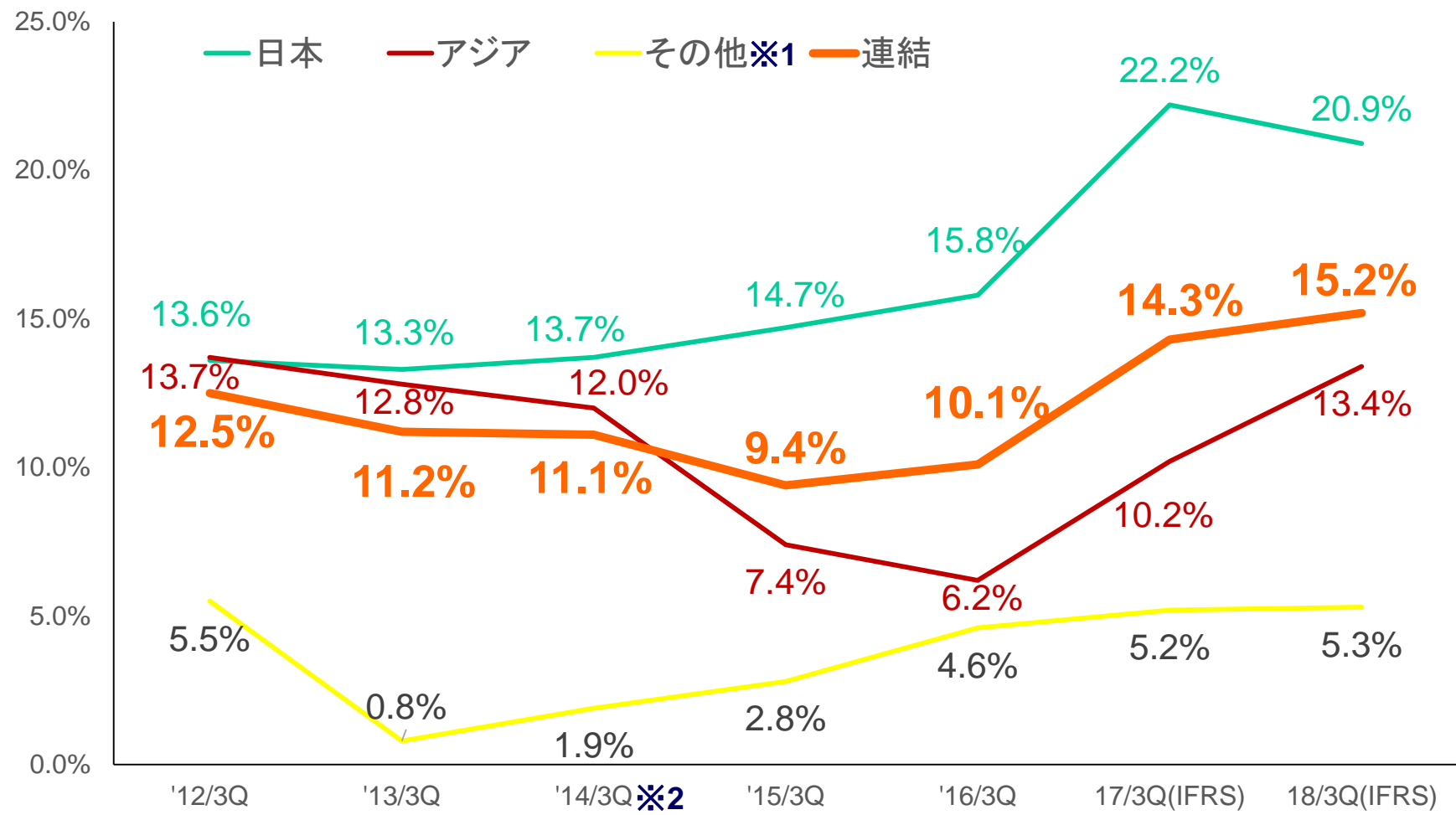
		'17/12月期 3Q累計	'18/12月期 3Q累計	増減額	増減率	(参考) 実質 増減率 ^{※1}
日本	売上高	189,798	200,430	+10,632	+5.6%	—
	コア営業利益	42,072	41,944	-128	-0.3%	—
	(利益率)	(22.2%)	(20.9%)		(-1.3%P)	—
アジア	売上高	201,417	219,910	+18,493	+9.2%	+10.1%
	コア営業利益	20,463	29,530	+9,067	+44.3%	+43.7%
	(利益率)	(10.2%)	(13.4%)		(+3.2%P)	—
その他 ^{※2}	売上高	74,377	77,775	+3,398	+4.6%	+6.4%
	コア営業利益	3,831	4,090	+259	+6.8%	+6.6%
	(利益率)	(5.2%)	(5.3%)		(+0.1%P)	—
調整額等	売上高	—	—	—	—	—
	コア営業利益	266	244	-23	—	—
	(利益率)	—	—	—	—	—
連結	売上高	465,592	498,115	+32,523	+7.0%	+7.7%
	コア営業利益	66,632	75,808	+9,176	+13.8%	+13.6%
	(利益率)	(14.3%)	(15.2%)		(+0.9%P)	—

※1:実質増減率は為替変動を除く増減率。

※2:その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

原材料価格の高騰の影響もありながら、 日本では、輸出の拡大や高付加価値化を推進し高収益性維持 アジアでは、主要国で順調に収益性が改善

■ 所在地別 コア営業利益率(営業利益率)



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。
 ※2: 決算期変更により変則的な決算期間。

パーソナルケアでは、中国を中心としたFCが牽引 ペットケアでは、アジア市場でも、日本の技術を活かし伸長



■ 事業別セグメント情報

(百万円)

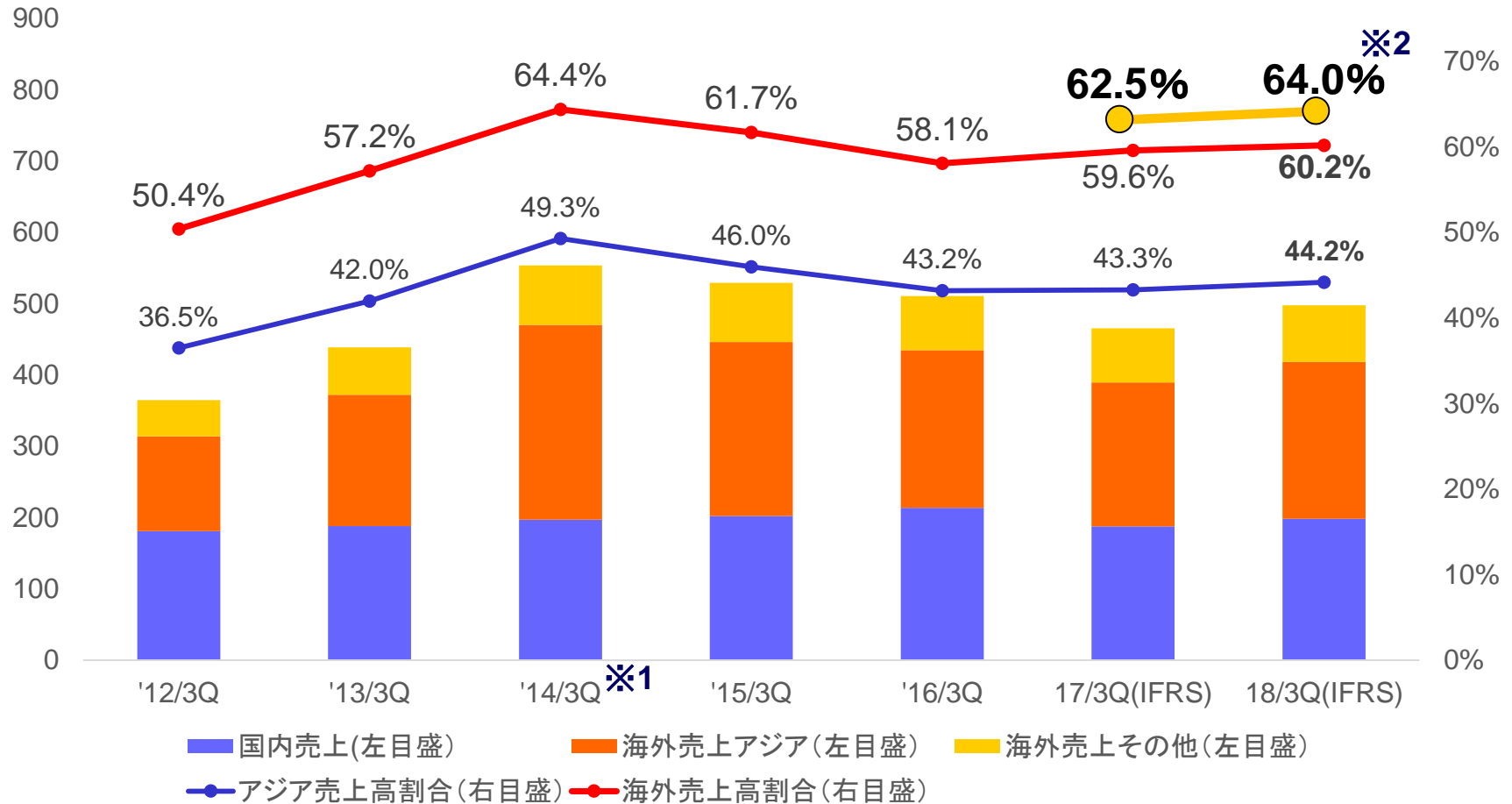
		'17/12月期 3Q累計	'18/12月期 3Q累計	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	403,877	434,760	+30,883	+7.6%
	コア営業利益	60,037	68,791	+8,754	+14.6%
	(利益率)	(14.9%)	(15.8%)		(+0.9%P)
ペットケア	売上高	57,048	58,251	+1,203	+2.1%
	コア営業利益	6,681	6,950	+269	+4.0%
	(利益率)	(11.7%)	(11.9%)		(+0.2%P)
※1 その他	売上高	4,689	5,127	+438	+9.3%
	コア営業利益	-86	67	+153	—
	(利益率)	—	(1.3%)		—
調整額等	売上高	-21	-23	-2	—
	コア営業利益	0	0	0	—
	(利益率)	—	—	—	—
連結	売上高	465,592	498,115	+32,523	+7.0%
	コア営業利益	66,632	75,808	+9,176	+13.8%
	(利益率)	(14.3%)	(15.2%)		(+0.9%P)

※1:その他は産業用資材関連商品等、育児動画配信サービス。

海外売上高構成比は60.2% (為替影響を除くと60.4%)

国内・海外売上高推移

(十億円)



※1: 決算期変更により変則的な決算期間。

※2: 日本からの越境EC等の輸出を海外売上高とした場合。

為替変動の影響額は 売上高 約32億円減、コア営業利益 約1億円増

■ 通貨別変動推移

通貨	'17/12期3Q累計レート	'18/12期3Q累計レート	増減率
中国(CNY)	16.47	16.85	+2.3%
インドネシア(IDR)	0.0084	0.0078	-7.1%
タイ(THB)	3.27	3.41	+4.3%
サウジアラビア(SAR)	29.89	29.27	-2.1%
インド(INR)	1.73	1.65	-4.6%
ベトナム(VND)	0.0049	0.0048	-2.0%
米国(USD)	111.92	109.61	-2.1%
台湾(TWD)	3.67	3.67	0.0%
オランダ(EUR)	124.55	130.97	+5.2%
韓国(KRW)	0.0985	0.1006	+2.1%
オーストラリア(AUD)	85.73	83.11	-3.1%
マレーシア(MYR)	25.76	27.50	+6.8%
エジプト(EGP)	6.27	6.17	-1.6%
ブラジル(BRL)	35.29	30.64	-13.2%
ロシア(RUB)	1.92	1.79	-6.8%

2018年12月期 業績予想見通し

売上高は4Qも好調を持続。4Qは当初計画以上に、来期に向けたマーケティング投資を積極的に投下。また、想定以上の原材料価格の変動等の影響により、当初業績予想を据置く

■ 連結業績予想

(百万円)

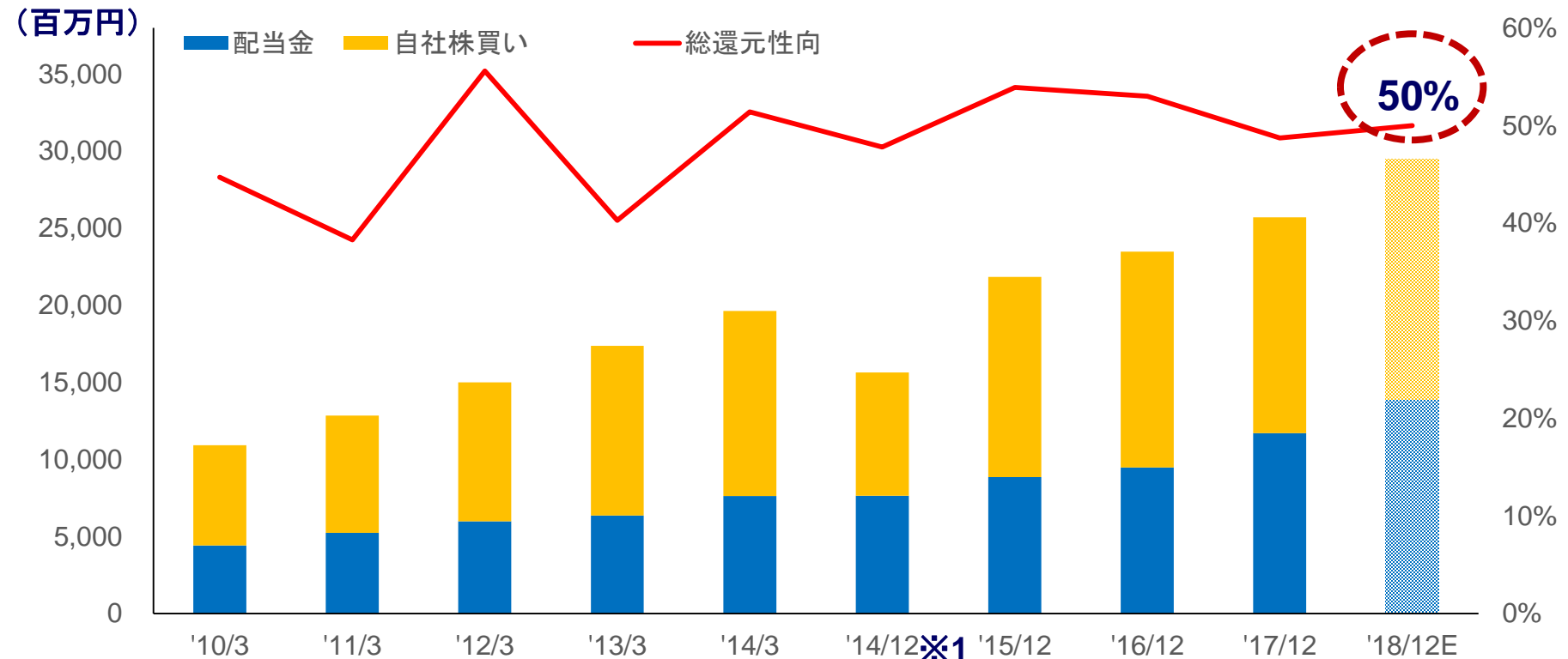
	'17/12月期	'18/12月期	増減額	増減率	※1 (参考) 実質増減率
売上高	641,647	687,000	+45,353	+7.1%	+7.5%
コア営業利益 (利益率)	86,838 (13.5%)	94,000 (13.7%)	+7,162	+8.2% (+0.2%P)	+8.5%
税引前当期利益 (利益率)	92,926 (14.5%)	93,000 (13.5%)	+74	+0.1% (-1.0%P)	—
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	52,772 (8.2%)	59,000 (8.6%)	6,228	+11.8% (+0.4%P)	—
基本的1株当たり当期利益(円)	89.85	98.91	+9.06	+10.1%	—
USDレート(円)	112.19	110.00	-2.19	-2.0%	—
中国元レート(円)	16.63	16.80	+0.17	+1.0%	—

※1: 実質増減率は為替変動を除く増減率。

株主還元政策

2018年度も総還元性向50%を予定 株主への配当と自社株の取得155億円規模を実施予定

株主還元政策



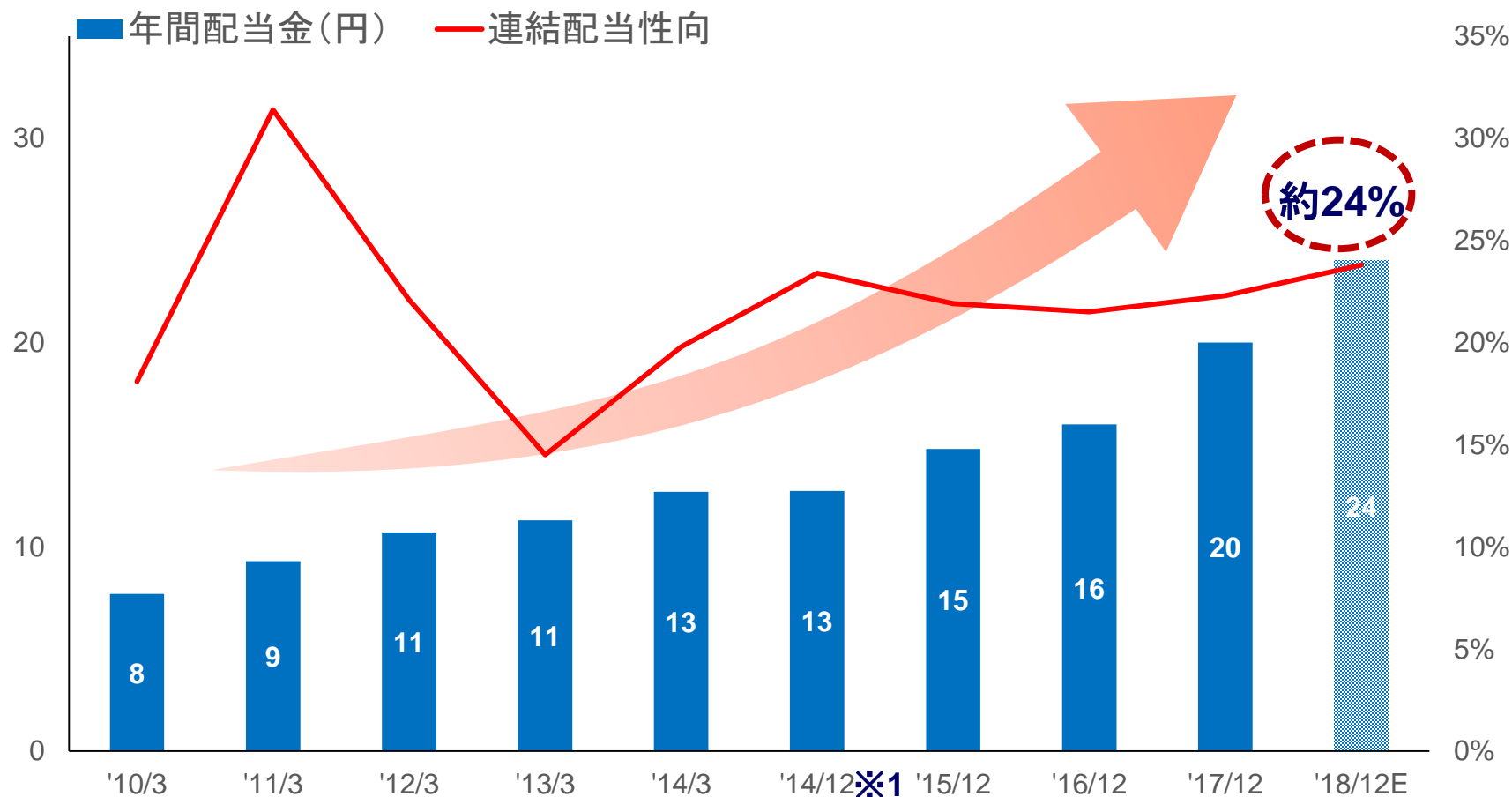
※1 '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算。

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向は段階的に引き上げる)に利益還元を図っております。

安定的かつ継続的な増配を実施し、17期連続増配を計画 配当性向は段階的に上昇

■ 1株当たり配当金の推移

(円)



※1 '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算。

企業価値向上に向けて

ユニ・チャームの目指す『共生社会』の実現に向けた取り組みを通じて、重要課題を解決し持続的な成長を実現



持続可能な開発目標 (SDGs)



ユニ・チャームの重要課題

1. 健康寿命の延伸



2. 新興国における女性の自立支援及び衛生改善



3. 環境と持続可能性への貢献



4. 地域社会への貢献・人間尊重



5. 組織基盤の強化と公正な事業慣行



重要課題に対する取り組み

ガバナンスの強化

健康寿命の延伸

地球環境への貢献

新興国の女性の自立支援および衛生改善

地域社会への貢献

ユニ・チャームの目指す世界

全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる

NOLA & DOLA

Necessity of Life with Activities & Dreams of Life with Activities



共生社会の実現



健康寿命の延伸

◆『ライフリー』で健康寿命をささえる

■ 「ソーシャル・ウォーキング※」で健康寿命の延伸に貢献

※「社会参加&歩行」の造語で、人と関わり、楽しみながら歩くことを誰もが取り組みやすい形にした認知症予防のためのウォーキング（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所の監修のもと、当社考案。）



■ 尿もれの不安をなくして外出意欲を促進し、健康寿命を延伸する商品を提供



◆国内外で「ピンクリボン活動」に継続参加

■ 乳がん検診の早期受診・早期発見の重要性を発信



嬌聯股份有限公司(台湾)での「ピンクリボン活動」

◆「認知症サポーター※養成講座」の実施

■ 認知症予防とケアの両面で社会貢献活動推進の大切さを学び、「共生社会」の実現に貢献する人材を育成（社内研修）

※ 認知症当人や家族を支援する正しい知識と理解のある人



◆ペットとの共生社会実現に向けた商品開発

■ 介護が必要な状態となった高齢のペットの生活を少しでも楽に快適にし、最期の時まで幸せできるように





新興国の女性の自立支援 および衛生改善



◆「生理だから学校に行けない」をなくすために

- インド、インドネシア、ミャンマーでの初潮教育プログラムの展開
- 開発途上国関係者向け「学校保健」研修で初潮教育活動を講義

■ ソーシャル・インパクト
新興国初潮教育参加者数



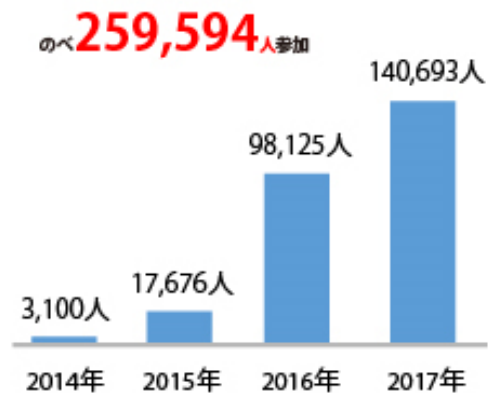
インドでの初潮教育活動



開発途上国関係者向け「学校保健」研修



ミャンマーで開発した
初潮教育用教材



◆サウジアラビアの女性専用工場での就労支援

- 働きやすい環境をさらに拡大

✓ 託児所や子どもとも過ごせる休憩スペースの充実

✓ 女性社員をリーダーに置き、工場運営をレベルアップ





環境と持続可能性への貢献

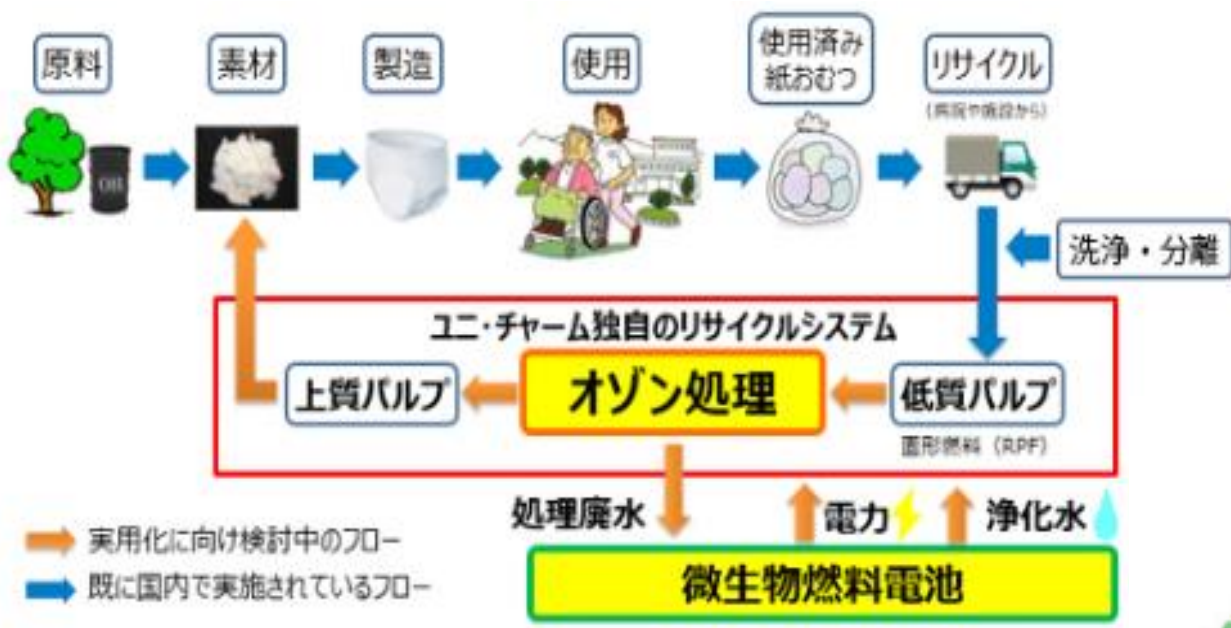
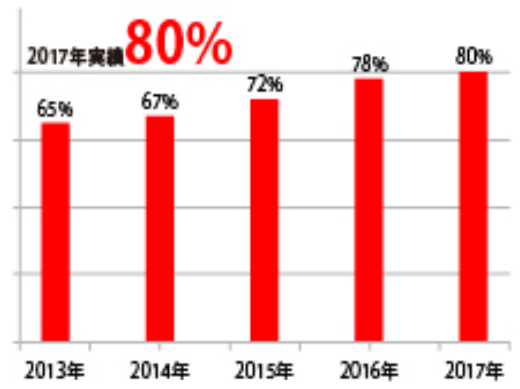


◆紙おむつの再資源化に向けた取り組み

■ ユニ・チャームの目指す紙おむつの循環型モデル

- ✓ 使用済み紙おむつから低質パルプを抽出した後、独自のオゾン処理を添加
- ✓ 再利用の工程で設備不具合の原因となるSAPを酸化させて水と二酸化炭素にまで分解し、**バージンパルプと同等の衛生的で安全な上質パルプとして再資源化**
- ✓ 紙おむつリサイクル工程での**微生物燃料電池を利用して水質浄化と同時に発電**が可能な処理方法に関する**特許を取得**
- ✓ 志布志市とともに世界で普及可能なリサイクルシステム確立へ

■ ソーシャル・インパクト 環境配慮型商品率推移





地域社会への貢献



◆被災地支援の取り組み

■ 被災地支援と節電活動を組み合わせたマッチングファンド※の継続

- ✓ 「Super Coolbiz 2018」の売上は4,014千円で、震災遺児の進学を夢を叶える「みちのく未来基金」への寄付や「平成30年7月豪雨」の被災地への義援金に活用



※「被災地支援」と「節電推進」を目的に、社員が着用するオリジナルポロシャツやジャンパー、グッズなどを社内で販売。社員の購入した代金相当額と同額を寄付する制度。



- インド洪水被災地への物資支援
- 「平成30年7月豪雨」被災地への物資支援



インド洪水被災者への寄付

■ ソーシャル・インパクト

被災地継続支援活動「スーパークールビズ/ウォームビズ」のべ参加人数累計



*2011年はスーパークールビズの実施

◆地域活性化支援

- 静岡県掛川市と災害対策や子育て支援、健康増進など7分野における『包括連携協定』を締結
- 福島市と『災害時における物資の供給協力に関する協定』を締結
- 福岡、熊本、香川等でも協定を締結
- インドネシア児童養護施設への継続支援と交流



ユニ・チャームインドネシア児童養護施設訪問時の様子

